三角山Ⅰ遺跡出土品

【所　　在　　地】霧島市国分上野原縄文の森2－1　鹿児島県立埋蔵文化財センター
【種　　　　別】県指定有形文化財（考古資料）
【指定年月日】平成２１年４月２１日

中種子町に所在する三角山Ⅰ遺跡では，縄文時代草創期（約１万２千年前）の遺構・遺物が確認された。特に土器の表面を帯状の粘土紐で飾る隆帯文土器は，南九州の縄文時代草創期を代表するものとして知られ，ほぼ完形に復元できる資料が29点あり，当時の土器文化を知る上で欠くことのできない貴重な資料である。